

行政視察報告書

令和7年 10月 27 日

長浜市議会議長 伊藤 喜久雄 様

長浜市議会議員 竹本直隆

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 令和7年度健康福祉常任委員会行政視察研修
2. 視察期間 令和7年10月22日(水)～10月23日(木)
3. 視察場所及び目的

①大阪府泉大津市

健康増進施策あしゅびプロジェクト、マタニティ応援プロジェクト

②大阪府豊中市

療育(0歳～就学前)

③「豊中市緑と食品のリサイクルプラザ」

4. 調査内容感想等

・視察の目的

泉大津市のマタニティ応援プロジェクト及び、あしゅびプロジェクト健康づくりの取組みについて

米の価格高騰という非常事態に対応し、子育て家庭の支援を図る事を目的としている。

また、あしゅびプロジェクトについても、誰もが健康づくりを費用をかけずに、気軽に出来る、また医療費抑制を数値的に具現化し、市の健康施策として幼児期から足を鍛える推進事業を展開されていることを視察目的とした。

豊中市の療育(0歳～就学前)児童発達支援の整備に向けた基本構想について、

障害のある子ども達の支援については医療職・社会福祉職など多職種の専門職を配置し、対象となる子どもについて初期の相談を行うと共に、医療、福祉、保険、教育などの重なり合う領域の各分野が持つサービスをコーディネートして、身近な地域でつながりのある総合かつ適切な支援を共有できるような機能を構築されていることを視察目的としました。

豊中市のリサイクルプラザについては、市内の小学校の給食残飯をリサイクルして、どのように処理し、最終的に活用、還元していく仕組みを構築されているところを調査目的とした。

・視察内容

泉大津市で取り組まれているマタニティー支援は米価格の高騰を非常事態として、東洋ライスと協力して「金芽米」を妊娠期に入った家庭に毎月10キロの米を無償配布し、生活の安定をめざす取り組みです。

あしゅびプロジェクトについても保護者の認知度が高く、概ね好評で、現市長の肝入れの政策の1つとして導入された。草履などの材料も、地域の産業である毛布素材を使うなど地域産業の支援にもつながっている。

大阪府豊中市・障害のある子どもへの支援について

子どもや子育て家庭への支援に関心を持ち、豊中市において子ども達一人ひとりが健やかに育ち、子どもを愛情深く育む地域社会の実現を目指し、平成25年4月に「豊中市子ども健やか育み条例」を制定されました。また、条例を推進するため、平成27年度から平成31年度を計画期間とする豊中市子育て・子育て支援行動計画「子ども健やか育みプラン・とよなか」を策定されました。

「社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども（家庭）への支援」の中で取り組みや「障害のある子供への支援の充実」が掲げてあります。

この様な子どもに障害のある支援の基本的な考えを共有することを社会全体で取り組む、豊中市の姿勢を視察内容とするものです。

「豊中市緑と食品のリサイクルプラザ」では、給食残飯と市内での公園や歩道の樹木の伐採による枝葉を細かくチップ化し、残飯と混合することによるバーク堆肥を製造し、公園の堆肥肥料としての活用や、市民の皆さんに安価な価格での販売をするなど循環社会に適合した視察内容であったと思います。

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

泉大津市のマタニティー応援プロジェクトについては米どころでもある長浜市においても、良い企画ではあるが、農業者の家庭も多く、導入するか問題のあるところでもある。また、泉大津市では給食費の無償化はなされておらず、これ以上の無償化政策も長浜市においては負担をかけるだけで、給食費の国の無償化が推進されなければ、取り組みはできないと推測される。

あしゅびプロジェクトについては、長浜市でも取り組んでみてはどうだろうか？実際に転倒や足の怪我や、疾病が少ないと述べられていました。医療費の抑制につながるともおっしゃっていましたが、データ分析は今後の課題の1つではあると思われます。

豊中市の児童発達支援の事業所は25施設あり、市内を網羅されている。長浜市には8施設あり、交通の便の不自由さが大きな課題の1つでもあり、職員の数も慢性的に不足しているのが実情である。ただ、施設内容や制度といったものには遜色がなく、自立をめざした取り組みなどもおおよそ同じであると感じた。身体機能や発達の気になる子どもへの適切な支援や専門的なアドバイスも問題がないように思われた。豊中市では民間施設への支援も新しい基本構想に組み入れられることが明記されているが、長浜市ではまだできていないのではないかと思うが、人的配置への支援も急務ではないかと推測される。

「豊中市緑と食品のリサイクルプラザ」については、長浜市も大依町のプラント処理場の施設で、この取り組みをしてはどうかなと感じた。焼却するだけでなく、リサイクルの観点からも良い取り組みではないかと思うが、人的な費用や低価格な面から推察すると、非効率的な部分もあるので、広域組合に提案を試みようと考えている。